



創 ~向学 自立 友愛~

文責: 校長 曾我 展治

ラブアースうみ

6月7日(日)に宇美町の取組として、「ラブアースうみ」が行われました。あいにくの空模様で、多くの自治会が中止の判断をすることになりました。しかし、その中でも新成区や福博鎌倉区などのいくつかの自治会では、草取りや防災学習を実施することができました。今回の「ラブアースうみ」は、期末考査直前ということもあり、参加を見送った生徒が多かったようです。今回の「ラブアースうみ」のようなボランティア活動を率先して行える生徒は、これからの日本や郷土である宇美町という社会を支えていく中心となってくれる人だと思います。ボランティア活動は、社会を助けるだけでなく、他者のために役に立っていると自分自身が思えることによって自己肯定感を高めるといわれています。自己肯定感が高まれば、自分に自信をもち、「他者と比較して一喜一憂することがなくなり、人間関係も良好になる」また「ストレスに強い人間になる」ともいわれています。今後、機会があれば、地域や人のために精一杯頑張る生徒がたくさん出てきてくれることを期待しています。また、「ラブアースうみ」をの実施にあたり、部友長さん(生徒のリーダー)が自治会長さんと様々な調整を行ってくれました。まさに、縁の下の力もちの働きでした。



【新成区】



【新成区】



【福博鎌倉区】



【福博鎌倉区】

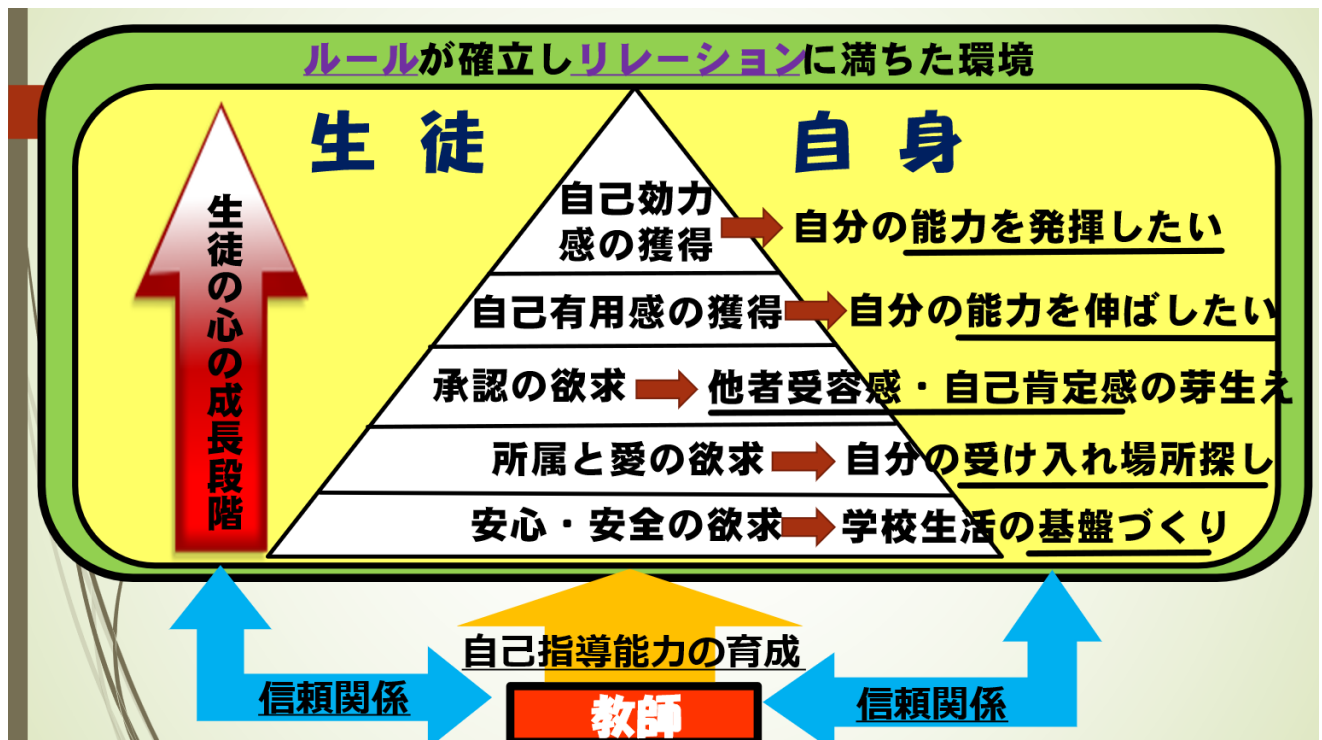
非認知能力等と学力を高める家庭での支援

先日、福岡教育事務所の所長のお話を聞く機会がありました。冒頭で「家庭はこどもの成長を支える上で、常に良き伴走者でなければなりません。」と話をされました。多くの話を聞く中で、ご家庭がお子さまを支えていく上で、とくに大切と思える内容がありましたので、2つほど紹介をいたします。(下記の2点は、令和6年3月国立教育政策研究所より抜粋)

- 1 こどもが保護者に対して「深い話はうちのの人にしない」という回避的な気持ちや「うちの人は自分をあまり好きではないかもしれない」という不安な気持ちが強いほど、学力、自己制御、協働する力が低くなる傾向があります。
- 2 小中接続期において、中学校への進学は、こどもにとって不安が高まりやすく、大きな挑戦となる時期です。この時期に、こどもが保護者との関係に安心感をもて、支援的な存在であると信じられることが、非認知能力を高める基盤を作ることになります。

この2つの支援は、非認知能力と学力を高めていく上でとても大切です。今後ともご家庭でのお子さまの成長の支援をよろしくお願いします。

こどもの心の成長の段階について



この図は、こどもの心の成長を表したものです。先ほど、ご家庭におけるお子さまの成長の支援についてお話をさせていただきました。ここでは、学校生活において、こどもの自己指導力が高まっていく中で、心がどのように成長していくかお話をさせていただきます。まず、こどもは学校生活を過ごす中で、学校が安心・安全な居場所であるか確認を行います。この欲求（安心・安全）が満たされれば、その集団に所属したいや愛されたいという気持ちが出てきます。その欲求（所属と愛）が満たされれば、次にその集団で認められたいという承認欲求が出てきます。そして、他者から認められ（他者受容感）、自分の良さがわかる（自己肯定感）と自己有用感が高まり、自分の能力を伸ばしたいと思うようになります。自分の能力を伸ばすことができれば、自分ならできるという思い（自己効力感）が芽生え、社会や他者のために自分の能力を発揮したいと思うようになります。このようにしてこどもの心は学校生活の中で段階的に成長していきます。加えて、心が成長する上でとても大切なものは、教育環境です。その中でも大切なものは、こどもと教師の信頼関係であり、さらに集団はルールやリレーションに満ちたものでなければなりません。こどもは、このような教育環境の中で、上述のような成長過程を経て、立派な大人となり、社会で活躍していけるようになります。そのためには、学校と家庭が協力し、こどもの成長を支えることが何より大切となります。

【7月の行事予定】

7月1日（水）	専門委員会	9日（水）	小中合同研修（午後）
2日（木）	読み聞かせ1年	14日（火）	PTA役員会・性に関する指導（全）
3日（木）	進路説明会3年・読み聞かせ2年 学校生活安全アンケート	15日（水）	子育てサロン
6日（月）	読み聞かせ3年	16日（木）	生徒集会・大掃除・ワックスがけ
8日（水）	未来に贈るコンサート（午後）	17日（金）	1学期終業式・職員会議
		21日（火）	三者面談（全学年）※～28日